

コロナ禍で「新しい価値を生み出す力」の必要性を認識 オンラインで地元企業と連携し、課題解決 「麗澤・地域連携実習 2020」スタート

麗澤大学(千葉県柏市/学長：徳永澄憲)では、「麗澤・地域連携実習」を開講しています。本実習はPBL(課題発見解決型学習=Project Based Learning)を全学的に推進するために2017年度より始めた取り組みで、柏市役所や地元企業から実際に直面している課題をご提供いただき、学生の視点から解決策を考え、市役所や企業の方へご提案します。2020年度で4度目の開催です。

実習を通して、PBLの基礎を1年生で体験し、2年生以降には学生自らの発案による主体的な学びにつなげることが目的です。

今年度は、コロナ禍でフィールドワークが限られる中、むしろオンラインを用いたインタビュー調査やプレゼンテーションのスキルを磨くチャンスと捉え、オンラインによるグループワークなどに積極的に取り組んでいます。

学生に、本取組を通して「特に高めたい能力」は何かという質問をしたところ、「創造力(新たな価値を生み出す力)」という答えがトップに上がりました。コロナ禍を経験している学生たちは、限られた活動の中でも新しい価値を生み出すことの重要性を感じています。

こうした取り組みに多くの1年生が興味を持ち、今年度は118名と昨年の約3倍の履修者がおり、柏市役所、イオンモール柏、柏レザー株式会社、千代田造花株式会社などからご提供いただいた10の課題解決に取り組んでいます。

また、本実習の後には、「課題解決ワークショップ(仮称)」という「チームで課題を見つけ、ワークショップなどを経て、最後にその解決策(商品やサービス)を提案する」という課外プログラムを実施します。「麗澤・地域連携実習」の履修者が、このワークショップとセットで取り組むことによって、課題解決策をビジネス(事業化)に結びつけ、起業家なども多く輩出できればと考えています。



▲昨年度の実施風景

【麗澤・地域連携実習の概要】

対象：麗澤大学1年生

スケジュール

- 10/9～10/15：履修登録
- 10/23～1/29：グループワーク、実習先企業へのヒアリング等
- 11/4・6・7：全体講義(Zoomにて、全3回)
- 2/3：成果発表会(Zoomにて)

【麗澤大学について】

麗澤大学は昭和10年、創立者の廣池千九郎(法学博士)が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス(千葉県柏市光ヶ丘)に開塾したことから始まります。心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できる人材の育成をめざし、今では大学・高校・中学・幼稚園を開校しています。また留学生の受け入れも積極的に行っており、キャンパスには世界約30の国・地域から留学生が集まり、さまざまな言語が飛び交っています。

【本件に関するお問合せ先】麗澤大学 URL: <http://www.reitaku-u.ac.jp/>

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1 アドミッション&PRセンター 担当：川原(かわはら)、大本(おおもと)

Email: pr@reitaku-u.ac.jp TEL: 04-7173-3030 FAX: 04-7173-3585